

8月10日

釧路川の素晴らしさを再確認 弟中生が釧路川で水質調査



釧路川の河川状況を調査する生徒たち

弟子屈中学校(杉山稔校長)の生徒が8月10日、釧路開発建設部釧路河川事務所主催の「釧路川水生生物による水質調査」に参加しました。

調査は同事務所が1984年から行っているもので、河川の水質を定期的に点検してデータを蓄積するとともに、地域の中学生に環境保全に関する意識を高めてもらうことが目的です。調査は釧路川の釣別樋門近くで実施。生徒は簡易水質試験用具での水質検査、川の生物の捕獲と観察、投網での魚類調査などを行い、釧路川の水のきれいさを再確認していました。

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐ反映させていただきます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課政策調整係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

8月19日

安全運転で楽しい道内観光を バイクの日に交通事故抑止街頭啓発



旗の波で交通安全を呼びかけ

「バイクの日」の8月19日、交通事故抑止を目的とした街頭啓発が国道243号、道の駅「ぐるっとパノラマ美幌峠」駐車場で行われました。

美幌峠では、過去にライダーや観光客による大きな交通事故が発生していることから、主にバイク利用者に対する啓発を目的に行われたもの。本町の交通安全運動推進協議会と美幌町交通安全推進協議会、釧路方面・北見方面両警察関係者など16団体から180人が参加しました。

参加者の皆さんは旗の波で啓発を行ったほか、バイク利用者や観光客に啓発メッセージ入りのフラッグやパンフレットなどを手渡し、安全運転を呼びかけました。

8月10日

特殊詐欺と飲酒運転撲滅をはがきで呼びかけ 弟子屈郵便局でかもめーる配達出発式



振り込め詐欺などの特殊詐欺と飲酒運転の撲滅を呼びかける暑中・残暑見舞いはがき「かもめーる」の配達出発式が8月10日、弟子屈郵便局(藤原将男局長)で行われました。

特殊詐欺への警戒、飲酒運転防止を啓発するメッセージが書かれたはがきを町内全戸に配布する取り組み。弟子屈防犯協会(田中富士男会長)や弟子屈警察官友の会(高田中会長)、弟子屈町商工会など20の団体や企業が賛同しました。

出発式には佐藤隆幸弟子屈警察署長や桐木茂雄弟子屈町商工会長など約20人が出席。はがきは町内各家庭に配達されました。

8月25日

災害発生時に役立てて 農業農村整備事業工程連絡協議会が資材提供



贈呈式で

道営農業農村整備事業を本町と標茶町で施工する3共同企業体で構成された工程連絡協議会が8月25日、災害用資材を町に提供しました。

今回発生した台風や今後の備えとして役立ててほしいと、社会貢献活動の一環として提供した。資材はブルーシートや土のう袋などで、贈呈式では同協議会を代表して辻谷・開成経常建設共同企業体の蝦名学主任から徳永町長に目録が手渡されました。徳永町長からは「今後、これらの資材を有効活用したい」と感謝の意が伝えられました。

8月20日

弟子屈の牛が大活躍 釧路ホルスタイン共進会で好成績



高橋さん(上)と坪井さん(下)それぞれの受賞牛

平成28年度釧路ホルスタイン共進会が8月20日、釧路市で行われ、(株)メドープリッジホルスタインズ(南弟子屈・高橋和憲さん)が出陳したメドープリッジ ロース シヤトルが見事、最高位のグランドチャンピオンに輝きました。また、坪井秀明さん(奥春別)が出陳したグリークエスト R O デンプシー ブレイクが、未経産牛全体の第2位となるリザーブジュニアチャンピオンとなりました。9月24日・25日の2016北海道ホルスタインナショナルショーには、本町からこの2頭を合わせた10頭の牛が出陳されました。

さまざまな遊びを楽しむ日

第13回弟子屈町子どもフェスティバル



制作コーナーで手作りに挑戦(上) 小さな子どもたち向けの乳幼児コーナー(下)

自然学校によるたき火コーナーでは、パン焼きやまき割り体験。たくさんの子どもの遊びを楽しむことができました。



屋外ではたき火に親しむコーナーも

「作ってあそぼ」をテーマに、第13回弟子屈町子どもフェスティバル(同実行委員会主催)が9月11日、町公民館で開催されました。今年初の日曜日開催で天候に恵まれたこともあり、多くの親子連れなどでにぎわいました。毎年好評のペーパークラフト・プラ版制作・シャボン玉遊び・お琴体験のコーナーが今年も人気を博したほか、北海道教育大学釧路校の学生による「蒸気船を作ろう」や、弟子屈高校の有志による「ペットボトル空気砲」のコーナーでは、おもちやが動く仕組みと作り方を教わりながら、参加者同士が交流を深めました。作製した割り箸銃砲やフリスビー飛ばし、紙飛行機で早速遊ぶ姿も多く見られました。

町の話題



町の話題

長寿祝い長年の貢献に感謝

町内各地で敬老会



徳永町長から記念品が(市街地区)



児童からメッセージ入りの折り紙が(屈斜路自治会)



祝いの品を受け取る皆さん(老人ホーム)

9月19日には、屈斜路自治会(金澤賢二会長)で敬老会が行われました。屈斜路研修センターで行われた敬老会では、古希、喜寿、米寿を迎えた方に祝いの品を贈呈。和琴小学校(鳴海厚校長)児童による「和つ子ソーラン」などが披露されました。また、児童手作りの鶴と亀の折り紙もプレゼントされました。

9月15日には、弟子屈町睦会(金子ひで子会長)主催の「第68回弟子屈町街地区敬老会」が福祉センターで行われ、約250人が出席しました。会では、徳永町長のあいさつに続き、八幡町議会議長からお祝いの言葉が贈られました。また、古希、喜寿、米寿を迎えた方に祝いの品が贈呈されたほか、さまざまなアトラクションも披露されました。

9月19日の敬老の日になみ、町内各地で開催されました。9月14日には、養護老人ホーム伴和園と特別養護老人ホーム摩周の合同敬老会が伴和園で行われました。会では、徳永町長のあいさつ、八幡町議会議長のお祝いの言葉に続いて、古希(70歳)、喜寿(77歳)、米寿(88歳)、白寿(99歳)を迎えた方に祝いの品が贈られる。また、今年度100歳を迎える方に、内閣総理大臣からの賞状と銀杯が贈られました。9月15日には、弟子屈町睦会(金子ひで子会長)主催の「第68回弟子屈町街地区敬老会」が福祉センターで行われ、約250人が出席しました。会では、徳永町長のあいさつに続き、八幡町議会議長からお祝いの言葉が贈られました。また、古希、喜寿、米寿を迎えた方に祝いの品が贈呈されたほか、さまざまなアトラクションも披露されました。

9月11日
お子さんもお母さんも頑張りました
3歳児健診でむし歯のなかった子を表彰



歯ピカ表彰式が9月11日、町公民館で行われました。3歳児健診でむし歯のなかったお子さんを表彰するもので、毎年行われています。今回は平成27年度の同健診でむし歯のなかったお子さんに、表彰状と記念品が贈られました。

本町では、むし歯になるお子さんは年々減少傾向にあります。全国平均と比べるとまだむし歯のお子さんが多い状況です。中学生までに生えそろう歯は一生の宝物です。歯に良い生活習慣を身につけ、今後もむし歯ゼロを目指し続けましょう。

9月5日
日頃の訓練の成果を披露
弟子屈・川湯消防団の秋季合同演習



平成28年度弟子屈・川湯消防秋季合同演習が9月5日、摩周観光文化センター前と町営スケートリンク場で行われました。

消防団員の技術向上と地域の防火意識高揚のため毎年行われているもので、消防職員や消防団員、関係者など約80人と消防車両が参加。観閲式や分列行進、消防技能競技会などを行い、日頃の訓練の成果を披露しました。参加者は演習を通して、防火意識を新たにしていました。

8月27・28日
打ちたての新そばに舌鼓
たぶん日本で一番早い新そば祭り



J A 摩周湖川口覚組合長と摩周そば生産組合(猪狩昭昭組合長)が主催する「第10回 J A 摩周湖農業祭 たぶん日本で一番早い新そば祭り」が8月27・28の両日、J A 摩周湖前で開催され、町内外から訪れた多くの方でにぎわいました。

会場では「摩周そば生産組合」「札幌蕎麦切会」「翁達磨グループ」が、弟子屈産のそば粉を使った、打ちたて、ゆでたての新そばを提供し、新そばを求める方で長蛇の列が。また、摩周メロンなどの農産物即売や地場産野菜などの天ぷら販売のほか、多彩なイベントも行われ来場者を楽しませました。

カメラスケッチ
広報マンが行く!!



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。

まちづくり政策課政策調整係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

9月13日
おいしいおそばを楽しんでください
レストラン摩周が老人ホーム入所者を招待



摩周観光文化センター内でレストラン摩周を運営する和田義光さんが9月13日、養護老人ホーム倅和園と特別養護老人ホーム摩周の入所者を招待し、約100人に摩周そばを振る舞いました。

敬老の日を前に感謝の意を込めて行ったもので、今年で4回目です。楽しみにしていた皆さんは「おいしい」と、うれしそうにそばをすすっていました。

9月11日
摩周湖を取り巻く水の流れをたどる
川湯エコミュージアムセンターの自然ふれあい行事

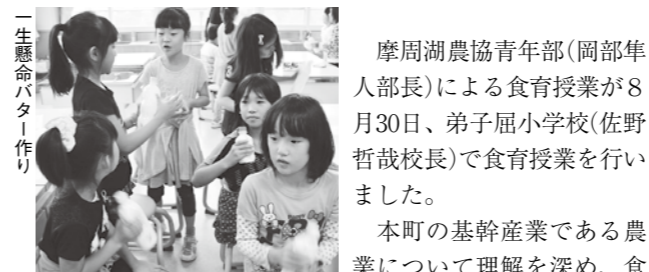


川湯エコミュージアムセンター主催の自然ふれあい行事「摩周名水ツアー」が9月11日に開催されました。

摩周湖を取り巻く環境を観察しながら周るバスツアーで、町内外から11人が参加しました。摩周湖第1展望台や裏摩周展望台、神の子池など各ポイントでは、摩周湖の湧水や自然環境などについてスタッフが解説。最後は虹別さけますふ化場で、小松信治所長から施設内での摩周湖の湧水の利用方法などを聞きました。

参加者の皆さんは熱心に耳を傾け、質問をするなど意欲的で、摩周湖の魅力を再認識していたようでした。

8月30日
小学生がバター作りに挑戦
摩周湖農協青年部による食育授業



摩周湖農協青年部(岡部隼人部長)による食育授業が8月30日、弟子屈小学校(佐野哲哉校長)で食育授業を行いました。

本町の基幹産業である農業について理解を深め、食の大切さを知ってほしいと毎年開催しているものです。今年は、3年生の児童に酪農についての授業を行いました。

初めに、酪農家の1日、搾乳の様子、牛の出産などについてビデオを使って説明。その後、児童はペットボトルに生クリームを入れて振り、脂肪分と水分を分離させるバター作りに挑戦。徐々にバターができる様子に歓声を上げていました。

8月28日
町内で最後の開催
おひさま保育園の運動会



おひさま保育園(元山久美子園長)の運動会が8月28日に開催されました。今年度の町内の運動会では、同園が最後の開催です。

あいにくの雨模様のため弟子屈小学校体育館での開催となりましたが、園児は元気いっぱい。かけっこや趣向を凝らした団体競技、お遊戯など練習の成果を披露し、保護者などから大きな声援が送られました。

9月16日
地場産品を使って体に優しい料理を
食育調理実習を開催



町主催の食育調理実習が9月16日、社会老人福祉センターで開催されました。

安全でおいしい地場産の食材をもっと食生活に取り入れてほしいと行われたもの。7人が参加しました。

講師は町の管理栄養士・石塚員可さん。メニューは、そば粉のドーナツとチーズドーナツです。そば粉のドーナツは生地にも周るそばの粉を使って油で揚げ、チーズドーナツは具としてチーズを包み、焼きドーナツに。参加者の皆さんからは手軽でおいしいと好評でした。

9月13日
プロジェクトチームの今後の活動について協議
南弟子屈地域活性化協議会のワーキンググループ



南弟子屈活性化協議会(小澤重則会長)の第4回ワーキンググループが9月13日に行われました。

同協議会は昨年5月、地域の活力とコミュニティーの核を担ってきた昭栄小学校の閉校を受け、地域ぐるみでのまちづくりを進めようと設立されたもの。今回は、今年度行われている「ライダーハウス」「酪農体験ツアー」「特産品開発」各プロジェクトチームの活動の中間報告が行われました。報告を踏まえ今後は、各プロジェクトチームでの活動を冬期間でも活動可能なものへと切り替えていくことを確認しました。

9月3日
いざというときに備えて
救急フェアで応急手当などを学ぶ



弟子屈消防署主催の救急フェア2016 in 摩周が9月3日、道の駅摩周温泉で開催されました。

9月9日の「救急の日」を前に、いざというときの応急処置を学んでもらおうと毎年行われているもの。参加した方は、心肺蘇生法のほかAED(自動体外式除細動器)の使い方や骨折処置などを学び、救急時への備えを再確認していました。また、高規格救急車内の見学や非常食の試食も行われました。

9月1日
楽しみながら火の用心
防火パークゴルフ大会で熱い戦い



川湯温泉地区の方を対象とした防火パークゴルフ大会(同実行委員会主催)が9月1日、川湯パークゴルフ場で開催されました。

川湯防火管理協議会と弟子屈消防署川湯支署でつくる実行委員会の主催で、同協議会の活動周知と防火意識の向上を目的に毎年開催されています。時折雨の混じる天候の中、熱戦が繰り広げられました。消火器の使用説明と体験会、AEDの使用説明では、もしもの時のために積極的に参加する姿が見られました。大会結果は次のとおりです。(敬称略)

▶男子/優勝・井ノ口 実、準優勝・酒井保、3位・横田憲治
 ▶女子/優勝・佐伯賀代子、準優勝・木村光子、3位・山下松子